全国各地にわたって渉猟した
大内氏関係の語録・詩文・経
学など根本史料の自筆稿本

予約限定出版

北辰鏡

御薗生翁甫編

マツノ書店

北辰餘光　略目次

詩
暁発竜門関　阿弥陀寺　赤間関改作寺次
清拙和尚韻　送商厳之長門州香積寺　題
亀山八幡菩薩行殿　題赤間関和大鑑韻　山口十境
詩（猿林暁月　羅峯飛瀑　初瀬晴嵐　清水晩鐘
氷上漲暑　南明秋興　虹橋跨水　象峰積雪　鰐石
生雲　温泉春色）送幹書記之厳島　送明首座赴防
州安禅　赤間関　贈長州逸上人　中宵発筑紫洋
檀浦　亀山　禅昌寺十境総頌　次清拙和尚題赤間関
韻　題大内公碧山別野　題秋江別意図贈人之防州、
送人之防州　寄防州竺儒侍者　送人還防州故里
長門立上人韻　過大内京兆旧第感藤　寄防州故人、
寄防州久敬　小鯖山听新鶯　仲英上人還周州　賦
杜鵑花送人帰西州　寄仁保上総公　題大内公寿像、
遠石與正梅別　題雪舟画芙蓉峰図　送日本僧雪舟、
雪舟楊知賓写余作金山図　題雪舟楊知賓之小軸
ほか一七〇編

偈頌
新住諸山乗福方丈鏡空和尚　妙葩頓首
拝覆新命天龍石屏和尚几　鏡空西堂寄
韻　歳旦上堂　癸亥正月　無弦琴　伝夜閑　武帝
達磨話　遺偈説通　風幡話　遺偈満天　佛
誕生諸叟　遺偈竹居　風幡話　賀與円忠首座末後
全提　呈起龍和尚影前　常楽拝塔偈　鹿王山龍文
禅寺　玄關雲版、　ほか一六編

道号
默庵　無極　高庵　大先号　大先　用
章　天桂　大春　玉韻　祥岩　陽浦
梅岩

記
蕉齋記　楽齋記　幽谷亭記　大蔵院記
山谷寺記　西栄軒大字幷記　飛松記　後
天開図畫楼記　日本安国寺五葉院記

説
大先説　雪舟二字説　三省説　大極説
惟参説　求道説　松林説　中心説　起叟
説　江南号説

書
朝鮮国都堂復大内義弘書　諭大内義弘書、
与朝鮮国議政府左右政丞求唐本一切経書、
復大内盛見書　辞大内道雄居士請拈香書　復
華厳大和尚書　復龍文大和尚　復西福寺大和尚
与保寿寺　遣朝鮮国書　朝鮮国復書　与牧松書
答牧松和尚　与朝鮮国礼曹参列疏　遣大明表　復
大内義隆書　復日本国大内殿　ほか一一編

序引
国序　竹居西遊集序　鳳翩之西遊集序、
膊菴序　希逸字偈序　賦早梅送人帰西州序　送萬
年蔵主帰国西瓶句詩序竹居西遊集序

題跋
法華疏記第十跋　門司版大方広佛華厳
経巻五十五跋　題大内氏碧山之別業詩
巻跋　禅林類集與書　跋如拙書後　題江山小景
雪舟筆水墨山水與書　屏風雪舟楊公所畫跋　題扇
面西湖図　題雪舟自畫　覆刻正平本論語跋　題雪
舟畫本　ほか八編

鐘銘
長門国二宮尊廟梵鐘　遠石八幡宮鐘銘
長州府中金山長福寺鐘銘　同再鋳銘
南明山鐘銘　長門国松岳山正法寺鐘銘　長州路
豊西郡福慧山萬寿禅寺鐘銘　周防国吉敷郡瀧塔山
龍蔵寺新鋳鐘銘　周防州吉敷郡恒富保吉日郷高蔵
寺鼎建能野霊宮新鋳鐘銘　長門州厚東郡宇部郷松
江山普済禅寺鐘銘　豊前州田河郡伊加利荘八幡社
鐘銘　豊前国御許山霊山寺鐘銘　防州吉敷郡平井
保姫山大恩禅寺鐘銘　ほか十編

賛
碁山和尚賛　補陀大士像賛　透関和尚
大内盛見画像賛　北野天神像賛　岐陽自
賛　鹿苑院殿天山大相国公肖像　承天中和文禅師、
菅公像賛　観音　円悟禅師　正法開山大円和尚
仲芳自賛　達磨畫像賛　石屋自賛　無外和尚賛
無求自賛　石屋和尚賛　覚隠和尚賛　竹居自賛
大基居士像賛　覚隠自賛　平田和尚賛　地蔵菩薩
賛　書応中興大建禅師像賛　仁保弘有寿像賛
福禄寿　龍文開山竹居大和尚像　大寧二世智翁和
尚像　龍文二世在山和尚像　福昌三世中翁和尚像、
器之自賛　又七首　伊香賀寿像　某寿像賛　深野
公寿像賛　杉重隆公寿像賛　玉岡自賛　鼎菴自賛、
陶弘護肖像賛　布袋自畫賛　英巌自賛　雪舟像賛、
全巌和尚賛　竹翁宗松和尚賛　桃岳自賛　日峯自
賛　大菴和尚賛　大内府君甲冑寿像賛　前南禅以
参省禅師像　在通肖像賛　陶興房寿像賛幷序　玄
室自賛　九江自賛　慶香自賛　大寄光穎和尚賛
湖心碩鼎自賛　大内義隆寿像賛　大内義隆肖像賛、
悟宗圭頓自賛　津翁道要自賛　孔子像賛

碑文
玉龍山福昌禅寺開山石屋禅師塔銘　周
州日照山高山禅寺開山碁山仙禅師塔銘、
日本長州鳳皇山安国禅寺南嶺和尚道行碑　周防路
鹿王山龍文寺開山竹居禅師塔銘　器之禅師塔銘

疏
南嶺子越住聖福疏　樞寰中住周陽承福京
城諸山疏　充金田住金山長福諸山疏　允
仲明住長州金山長福江湖疏　大円和尚住豊城万寿
江湖疏　長州長福寺請金田首座山門疏　明遠住乗
福諸山疏　以参住南禅諸山疏　以参住相国同門疏
篆文玉住永興同門疏

法語
示大内道雄居士　石屋真梁語　南明山
乗福禅寺法堂再建供養上堂語　器之写
僑語　以成永須語　日峯文朝語　慶香省賀語　塞
菴玄充語　茂林善栄佛祭法語
逆修拈香語大内古覚居士請　孚中西堂拈香
龍文寺殿大造鈞公居士七回忌陶盛政忌
前伯州大守主峰宗公居士二十五回忌杉氏　椿齢
寿公禅定門二十七日陶家人　龍文寺殿大造鈞公居
士七回忌　椿齢寿公禅定門卒哭忌　龍文寺殿大造
鈞公居士十三回忌　椿齢寿公禅定門小祥忌　龍文
寺殿大造鈞公居士十七回忌　椿齢寿公禅定門大祥
忌　同七回忌　前対州大守松栄久公禅定門断七日、
天瑞祐大姉大祥忌　ほか五編

拈香
浩侍者火　従五位左京兆尹関雲寺殿
定窓観大姉　浄久禅定門

下炬
周防正寿院佛殿両牌文　氷上山興隆寺本
堂供養願文　国清寺佛殿棟札　香山国清
禅寺蔵院須知　四祖香合縁起　大菴須益記文　氷
上山興隆寺縁起　氷上山興隆寺本堂上棟願文

雑
雪舟等楊ほか臨済宗九十人
慶屋定紹ほか曹洞宗四十四人

作者小伝

附録
曹洞宗派略系　大内氏の経学詩文（第
一期　弘幸　第二期　弘世　第三期
義弘　第四期　盛見　第五期　持世教弘　第六期
政弘　第七期　義興　第八期　義隆）大内氏略譜
大内氏略系　大内氏年表

■体　裁　B5判七九〇頁
箱入上製本
■頒　価　一五〇〇〇円（〒400）
■発　売　61年7月下旬
■予約締切　61年6月末日

予約限定出版

▼予約部数以外はつくりません。早目にご注文下さい。卸売不可。
▼先着二百名様には「大内時代山口古図」（山口県文書館蔵　石州和紙多色刷　68×58糎）をプレゼントいたします。
▼三回払い、年末ボーナス払いにも応じます。

〒745 徳山市銀座2
☎(六三)㉑二一九五
マツノ書店

北辰光輝

国学院大学教授　米原正義

北辰（北極星）降臨の伝承からはじまる周防大内氏は、七か国の守護を兼ね、西国随一の強勢を誇る一方、中世武家文化の典型で、王朝古典、五山文学などの花は領国に咲き乱れた。御薗生氏は、こうした日本文化に偉大な足跡を残した大内氏の研究が、明治の近藤清石翁以来中断していることを歎き、関係史料の散乱に眼を向け、史料収集に尽力され、そのうち経学・詩文などに係わるものを写本三冊として完成し、『北辰餘光』と題された。それは北極星の余徳で生まれたとの意であろう。昭和八年のことであった。

今回、徳山市のマツノ書店から、その『北辰餘光』の著者自筆影印本が公刊されるという。後学にとってまことに意義深く、北辰はいよいよ光り輝くであろう。

大内文化に興味をもっていた私が、昭和二十九年八月、山口県地方史学会の象徴である御薗生氏を訪ねたとき、大内氏の基礎的研究の必要性を力説されたことを、今もあざやかに想い浮かべる。その基礎史料に埋まる『北辰餘光』の刊行は、大内文化の研究に多大な裨益をもたらすものと信じて疑わない。

大内氏史料の宝庫

山口県地方史学会会長　臼杵華臣

山口県地方史学界の至宝と仰がれた御薗生翁甫先生が、九十一才で天寿を全うせられたのは、昭和四十二年三月七日のことであった。退官後の半生を防長地方史の究明にかけ、透徹した史眼と精励倦むことなき努力によって、『防長地名淵鑑』『防長造紙史研究』等の大著をはじめ数々の著作や稿本を世に送られた。いずれも新分野の開拓であり、それぞれ新機軸をなすものとして高く評価せられている。

しかし、何といっても先生の本領は大内氏時代の研究にあった。山口県下はもとより全国各地にわたって、大内氏関係の古文書・記録・銘記・遺文等の根本史料を細大となく渉猟し、つぶさに関係の遺跡・遺物を探査して、緻密で鋭利な批判と周到な考証をもって、独創的で明快な論断を下し、不朽の名著『大内氏史研究』を世に問われた。

『北辰余光』は先生の集収史料の内、特に大内氏関係の語録・詩文・経学関係資料を集録せられたものであり、これはまさに大内文化研究の基礎史料の宝庫である。昭和八年の完成であるが、その自筆稿本を山口県立図書館に寄贈して一般の利用に供せられた。多年苦心収集の史料を、学問の進歩のため敢えて惜しみなく提供せられる態度は一寸真似のできないところで、その意義と価値は大きく、学界同人・郷党挙げて感謝し、ひとしく尊敬して止まないところであった。

いまここに、マツノ書店から先生の自筆稿本が影印本として、公刊せられる。先生の真摯にして峻厳な学問的真面目に直にふれることができることは何よりも有難く、感銘を深くするところである。

内容見本

三體一覽跋

三體一覽寶於世之書也、凡從遊於藝工於詞之士、未嘗無取焉、況信乎、聞巷三聲之字倏次於一孤之上、平仄之異、繇於一行盈下之說、未有踰此、不由五行俱下、十目之中、古之人快乎、舍毋幸有一意於勸人葛工之、故不待其相梓之杉廋、乃復命工新其刋矣、庶爲此州廖本乎、勉哉小其字於葛板、册子毋使於蔽世、光飾其藝苑、潤色詞林、則箱攜袖閒也、所謂徑寸之珠不突寶於其形之小者也。

皆天文八年己亥三月日

正四位行參議兼大宰大貳兼兵部大輔陸奥守藤原朝臣義隆